



とみた みう
福島県いわき市出身俳優 富田 望生さん



よこた りゅうぎ
福島県川内村出身俳優 横田 龍儀さん

企画展第2部

人が語る 原子力災害

2011年に起きた東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故。この企画展では原子力災害について、避難や避難生活などを経験した11人の証言をパネルや映像などで展示します。会期中に展示の入替を行う予定です。

会期後半の展示では福島県出身の若手俳優2名の展示も行います。

2023年11月23日(木・祝)
2024年3月25日(月)

休館日…火曜日・年末年始(12/29~1/3)
臨時休館(2/19~2/22)

開館時間…9:00~17:00(最終入館16:30)
入館料…一般600円、小中高300円

会期中で展示入替を行います。

前半:2023年11月23日→2024年1月22日
後半:2024年1月24日→2024年3月25日



福島県 Fukushima
東日本大震災・
原子力災害
伝承館

The Great East Japan
Earthquake and Nuclear Disaster
Memorial Museum



自分が経験したことを語る「言葉」にはその人の思いが込められています。

この企画展では原子力災害について、当時を経験した11人の証言をパネルや映像などで展示し、被災した人の視点で原子力災害を振り返り、考える場とします。

原子力災害は住んでいた地域、年齢、立場などによって十人十色の経験があります。人とモノと語りをつなぐことでそれぞれの考えや思いなどを伝えていきます。

期間中は前半と後半で展示替えを行い、会期の後半では福島県出身の若手俳優の展示も行います。



特別養護老人ホームに残されていた入居者の車イス(岩本さん関連資料)

名前 ①震災時の居住地 ②震災時(2011年)の年齢 ③証言内容

	名前	①震災時の居住地	②震災時(2011年)の年齢	③証言内容
前半 11月23日～1月22日	横田 善広さん	①浪江町	②51歳	③双葉郡の学校教職員としての責務
	岩本 美智子さん	①双葉町	②37歳	③特別養護老人ホームでの対応
	渡辺 昌子さん	①大熊町	②45歳	③役場職員としての対応と苦渋の決断
	宗像 涼さん	①富岡町	②12歳	③避難所生活でのたくさんの出会い
	唐木 幸恵さん	①富岡町	②57歳	③避難先でもらったたくさんの支援
後半 1月24日～3月25日	佐々木 茂夫さん	①浪江町	②58歳	③避難先での自治会コミュニティー
	今泉 春雄さん	①双葉町	②57歳	③双葉町の伝統文化を次世代に紡ぐ
	小泉 良空さん	①大熊町	②14歳	③中学生ながらに感じた避難生活
	遠藤 昭三さん	①富岡町	②55歳	③避難所から生まれたダンボールアート
	横田 龍儀さん(俳優)	①川内村	②16歳	③避難先で芸能界への道が拓ける
	富田 望生さん(俳優)	①いわき市	②11歳	③東京にいないといけない理由

イベント 被災地バスツアー

解説を聞きながら
伝承館周辺を巡るバスツアー

日時 2024年3月2日(土)
13:30～15:00

募集人数 最大20人

参加費 無料

詳しくはこちらから



避難生活の中で制作した、ダンボールに描いた富岡町の桜並木(遠藤さん関連資料)

お問合せ先

公益財団法人 福島イノベーション・コースト構想推進機構
東日本大震災・原子力災害伝承館

電話0240-23-4402 FAX0240-23-4403

電子メール archive@fipo.or.jp

HP <https://www.fipo.or.jp/lore/>

◆[双葉駅]からシャトルバス、タクシーで約6分(約2.7km)

◆[常磐双葉IC]から一般道で約12分(約7.5km)

